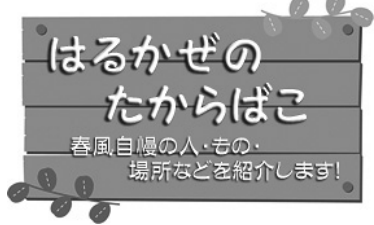




第369号
2026年3月1日
編集・発行
春風地区
コミュニティ委員会
(春風公民館)

春風から飛び出せ日本のエース バレーボールfamilyが花咲く



甲子園浦風町 丹山 花椿さん(18)

父、母、3姉妹の丹山(たんやま)さん一家は、全員がバレーボールを愛するfamily。それもただ好きなだけでなく、「春風にこんな本格派選手たちがいたなんて!」と驚く世界だったのです。そんな中、高校3年の次女花椿(つばき)さんが所属する金蘭会高校バレーボール部が、先日(2/22)のJVA第78回全日本バレーボール高等学校選手権(春高バレー)で見事優勝を飾りました。

セッターとして大活躍した花椿さんに、母親の裕子(ひろこ)さんと共に話を聞きました。



アイドルかともみまごう
かわいらしさも魅力の
花椿さん

花椿さんが広島から春風に引越してきたのは6歳のころ。春風小学校の6年間は、バレーボール指導者だった祖父の教室に通っていました。丹山一家はまさにバレーボール一族だったのです。

父親の禎昭さんは元JTサンダースに所属し、現在は韓国の仁川興国生命ピンクスパイダーズの首席コーチ(実姉も元プロバレーボール選手)、母親の裕子さんも高校時代にインターハイ出場、姉の花楓(かえで)さんは高校で引退しましたが、妹の花凜(かりん)さんは現在、金蘭会中学バレーボール部で活躍中です。

そんな環境で育った花椿さんは、より本格的に打ち込めることを求めて、中学は強豪の金蘭会中学校へと進学しました。

「ものすごく厳しくて、最初は本当にきつかったです。1、2年の間はベンチで応援するばかりだし、明確な目標が持てない自分がありました」

なんとなく迷いがあった花椿さんにも、やがて転機が訪れます。2年生の時、けがをした選手の代わりに出場する機会を得て、そこでレシーブをメインに大活躍。見事、全国優勝を勝ち取りました。

裕子さんも「あそこで変わったな」と思いましたね。花椿はとにかく「バレーが大好き。うまくなりたい。なんでもやってみよう」という気持ちが強いです。その当時を振り返ります。

中学当初はミドル、ライト、レフトなどポジションが変化しましたが、3年生になってセッターに挑むようになり、今では名セッターとして全国にその名をとどろかせるようになりました。



躍動する姿がまぶしい

セッターの面白いところを尋ねると「プロッカーをだますところ。スパイカーが気持ちよく決めてくれたらうれしいです」と語る花椿さんに、裕子さんが「セッターは試合のよし悪しを決めま



U-18アジア大会で
ベストセッター賞受賞式にて

す。ゲームメイクするポジションなんですよ」と語ります。なんと祖父、父、母もセッターだったとか。こんなところまで血が繋がっているなんて不思議ですね。

これまで築いてきた数々の栄冠は、全国中学校選抜のイタリア遠征で「セッター賞」、JOCジュニアオリンピックカップ「ベストセッター賞」、U18アジアユース女子選手権大会「ベストセッター賞」、全国高校選抜でタイへ、近畿高等学校バレーボール優勝大会、最優秀選手賞、全国高等学校総合体育大会優勝、春高バレー優勝と目覚ましく、花椿さんの汗と努力がうかがえます。

春からは関西大学へ進学します。「ズバリ目標は、春リーグ、西日本インカレ、秋リーグ、全日本インカレの4冠です。バレーを通して、人としても成長していきたい」と語る花椿さん。このまま全国へ、世界へと飛び出してほしい! 春風一丸となって応援したいですね。



上甲子園吹奏楽部の新たな一歩 KAMIKO SYMPHONIC & MARCHING BANDへ



令和7年、関西吹奏楽コンクール中学生Aの部金賞、さらに全日本マーチングコンテスト中学生の部で金賞受賞を果たした上甲子園中学校吹奏楽部。昭和23(1948)年の創部以来、地域と共に歩み、輝かしい歴史を築いてきました。

令和8年度、西宮市の部活動地域展開「プレみや」が始動。「地域で子どもを育てる」という方針の下、同部は地域クラブ「KAMIKO SYMPHONIC & MARCHING BAND」へと生まれ変わり、その伝統を次代へつなぎます。

本特集では、大きな節目を迎えた吹奏楽部の1年と、そのDNAを受け継いだ卒業生の声を届けます。

昨年の主な活動紹介

1年を通してさまざまな演奏会や地域のイベントに出演しています。

<p style="text-align: center;">Spring</p>  <p>↑関西吹奏楽の日 奉納演奏 (西宮神社 5月)</p> <p>入学式・離任式・対面式(4月) 西宮市制百周年記念だんじりパレード(廣田神社 4月) 2025ディパーチャーコンサート(アクリエひめじ 5月)</p>	<p style="text-align: center;">Summer</p> <p>吹奏楽コンクール(7・8月) 西宮市吹奏楽連盟定期演奏会(7月) ジョイフルコンサート(アクリエひめじ 8月) 春風地域 ふれあい夏祭り(8月)</p>  <p>↑JR甲子園口ほんわか商店街 歩行者天国パレード(9月)</p>	<p style="text-align: center;">Autumn</p>  <p>↑全日本マーチングコンテスト(大阪城ホール 11月)</p> <p>文化活動発表会(10月) 上甲子園地区大運動会(10月) 神戸ストークス公式戦オープニングパフォーマンス(10月)</p>	<p style="text-align: center;">Winter</p>  <p>毎日甲子園ボウル 中学招待試合 ハーフタイムショー(12月)</p>  <p>定期演奏会兼3年生引退コンサート(12月)</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

卒業生の声

昨年末の定期演奏会でも、OB・OGバンドや運営スタッフが、現役生を力強くサポートしました。今回は、そんな卒業生たちにアンケートを実施。それぞれの進路や思い出を紹介します。

(※アンケートは、定期演奏会に参加した70期('19年卒)~76期('25年卒)の卒業生を中心に行いました)



OB・OGバンド・当日リハーサルの様子

Q:上甲吹部の一番の思い出は？

- 一つの目標に向かってたくさんの人と切磋琢磨できたこと(76期・Tb)
- マーチングの全国の舞台上でソロを吹いたこと(70期・Ob)
- 伝統である全国マーチングコンテストの当日(75期・Tb)
- パートのみんなであまく吹けないところを500回練習したこと!(70期・Tp)
- OB含めた100人の大合奏で、ピッコロソロを吹いたこと(71期・Fl)



Q:上甲で吹奏楽をやって良かったと思うのはどんなこと？

- 楽器が2回変わり忍耐力が身につく、メンタルが強くなった(75期・Sax)
- かけがえのない仲間に出会えた。いろんな経験ができた(73期・Ob)
- 練習したぶん成長できた(76期・Fl) 音楽が大好きになった(73期・Tp)
- 全国大会に行かせてくれたこと(76期・Tu)
- 努力することの大切さを知った(74期・Fl)
- 人前で発表することに緊張しにくくなったこと(76期・Hr)
- マーチングが経験できたこと、友達がたくさんできたこと(75期・Hr)
- ちょっとしたことでくじけない、諦めないことを学んだ(75期・Tb)
- たくさんのお客さんから拍手や声援をいただいたこと(76期・Per)
- 敬語やあいさつなど、社会に出るために必要なことを学べた(76期・Cl)
- 今でもさまざまな人に吹部が活躍していることを褒められること(74期・Per)
- 大好きな楽器に出会えたこと(76期・Cl)
- みんなで同じ目標に向かって一生懸命に取り組んだこと(76期・Hr)

Q:今後上甲吹部とどう関わっていききたい？

- 部活動がなくなり、どんな形態になったとしても子どもたちが全力で音楽に取り組めるような環境を与え続けられるように、スタッフとして関わっていききたい(70期・Tp)

Q:これからの目標は？

- これから先もずっと楽器を続けていきたい。吹奏楽で培った“届ける力”を生かして、たくさんの方々に笑顔にし、勇気を与えられる存在になりたい(71期・Fl)
- 音楽大学に行って楽器を極めたい(74期・Br-sax)
- 中学校の教師になりたい。また上甲生として恥ずかしくない生き方がしたい(72期・Cl)

PICK UP!/林奏汰さん (73期・Tu)



尼崎市立尼崎双星高校普通科音楽類型を卒業後、ウィーンやドイツのシュツットガルトなどでレッスンを受け、現在留学に向け準備中です。第35回日本クラシック音楽コンクール第2位(2025)第24回日本ジュニア管打楽器コンクール金賞(第1位)(2022)など多数コンクールにも出場。これから注目のOBです!「今回の定演、それぞれの道に進んだ人たちがその瞬間のためだけに久々に集まったのにも関わらず、いざ合奏してみると上甲のサウンドは健在で、深く染み込んでいるというのを実感できたことが何より印象的でした」



春風小学校PTA NOW!



PTAとは、Parent-Teacher Associationの略称で、保護者と教職員が協力し、子どもの幸せと健全な育成を図ることを目的とした団体です。しかし今、学校におけるPTAが大きく揺れ動いています。存在自体をなくしてしまう学校も少なくない中、春風小学校では昨年度に新しい形で活動することを決め、動き出すこととなりました。

初年度となる昨年、任意の入会届を出した会員数は全体の6割でした。約1年の活動を経た、現在の春風小学校PTAを訪ねてきました。

PTAというと、すぐイメージするのは「委員に選ばれたらどうしよう」というプレッシャーでしょうか。子どもたちの暮らしをよりよくするための活動でも、これまでは強制的に感じて、面倒に思ったり、気負ってしまう印象があったりしたかもしれません。

現在、総務部は、会長、副会長、会計2人、書記1人を中心に、新しいPTAを形づくっていこうと頑張っています。新PTAでは「できる人ができる時に」をモットーに、義務的な委員決めなどは行いません。気軽にやってみようかなと手を挙げた人をお願いするため、委員が空席のままの部もあります。

令和7年度 PTA会員数 492人(うち教職員45人)
(参考:全生徒数 900人・725家庭)

今年度は、広報誌発行や学年部の活動に加えて、これまではなかった試みとして、2月18・19日の参観日に合わせて、保護者交流会を企画し、子育てで悩んでいることなど、日頃なかなか話す機会のない保護者同士が話し合える場も設けました。

申し込みやアンケートなどはGoogleフォームを活用してペーパーレスにし、個人情報の正しい管理にも努めています。これからも時代に合った、子どもにも保護者にも楽しめる企画を考えたいと意気込んでいます。(執筆時1月末予定)

春風小学校 PTAからのご案内

令和6年度に大規模な改革を行いました。
“できるときに、できることを”を合言葉に、
子どもたちの学校生活がより豊かになるよう、
みんなで力を合わせて活動しています。

～「もっと楽しく!」「もっと安全に!」「もっと仲良く!」～

【活動について】
PTAは、皆様からの会員とご協力で成り立っています。
子どもたちの学校生活や教育環境をサポートするだけでなく、
先生や保護者との“つながり”を
育む場所になりたいと思っています。

- ・みんなで楽しむイベントを企画・運営
- ・地域とつながり、子どもたちの校外生活の見守り
- ・保護者同士の交流会、情報共有など

【役員は完全立候補制です】
役員の立候補やお手伝は大歓迎です!
会費は1家庭あたり月250円(11ヵ月分/8月除く)※今年度のみ1・2・3月分は除いています。
子どもたちの活動費、行事運営、地域連携に使われます。

PTA活動に対する皆様のご理解とご協力を請り、
心より感謝申し上げます。
今後とも、変わらぬ温かいご支援をお願いいたします。

PTAに関するお問い合わせがございましたら右のQRコードから
ご連絡ください。

新たに配付されたPTAチラシ

地域の会議にも出席するようになり、年代の異なる方とたくさん出会えました。今まで自分と子どもの世界しか知りませんでした。地域がみんな支え合って生きていることを実感しています。PTAもその地域の一端を担えるよう、子どもたちが笑顔で過ごせるよう頑張ります。

会長 吉武佳奈子さん

あくまでもPTAは子どもたちのため。子どもたちが元気で楽しく、安全に学校生活を送れるよう、陰ながらサポートしたいと、吉武さんと坂下さんはともに力強く語っていました。そのためにも、保護者にとって負担では本末転倒。「できるときに、できる人が」でありたいということがモットーであると同時に、新PTAの願いでもあるようです。

今は委員がない部もあるなど、足りないところもあるかもしれません。しかし、春風の新しいPTAはまだ始まったばかり。これから時間をかけて、たくさんの人の理解と協力が得られることを願っています。

校外の会議に出席することもあり、いろんな学校や役員さんの工夫を知ることができ、視野が広がりました。
役員は幼稚園の時も経験していましたし、子どもたちの学校生活の充実につながるならと思い引き受けましたが、日々自分自身の勉強にもつながっています。

副会長 坂下舞衣子さん

恵方参り婦人会

春風婦人会の恵方参りで、1月8日に和歌山方面へ行きました。総勢35人の中には、夫婦、男性の参加も多くなり本当にうれしいことです。

まずは、根來寺の参拝。次に国宝で、日本最大級の木造大塔で秀吉の紀州攻めの弾痕が残る建造物を見学。周りにある桜の木が、春には、また違った景色を奏ませてくれるのではと思いました。

昼食は、映画『国宝』のロケに使われたホテルでお正月料理をいただき、午後からは世界遺産の丹生都比売神社に向かいました。弘法大師に高野山を授けた女神の社といわれている、朱塗りのとてもきれいな神社でした。たくさんのお参りとお土産を持って、全員無事に帰路につきましました。すでに、来年の皆さんとの恵方参りが、今から楽しみです。

春風婦人会 藤原宮子



丹生都比売神社 (にゆうつひめじんじゃ)

昨年11月29日に春風小学校で防災訓練が行われました。快晴で暖かな天気にも恵まれ、皆さんの親子連れや地域の人が参加し、楽しみながら防災について学びました。

ずらりと勢ぞろいした消防車は圧巻で、警察車両や給電車の展示もありました。実際に活躍中の砂にまみれた自衛隊車に、制服を着て乗車できる体験などもあり、子どもたちは大喜びでした。



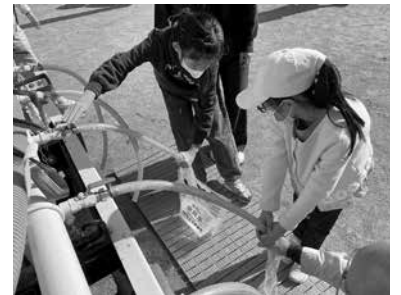
消防車にも乗れたよ!

災害食「アルファ米」の試食コーナーもありました。春風自主防災会の皆さんが提供する山菜おこわは、もっちりとして食べ応えがあり、火を使っていないことが信じられないほどおいしかったです。被災した際に重要な応急給



災害時には食が大事

春風小学校区 防災訓練が行われました



子どもたちもしっかりお手伝いできます

水訓練の講習もありました。水道が止まる大変さを、子どもたちも肌で感じていたようです。

訓練の締めには消防団による放水訓練の実演がありました。消防団の人がキビキビした動作と掛け声でホースをさばき、校舎に向かって放水する様子は頼もしさでいっぱいでした。



校舎を放水がめがけて消火! 迫力ある放水が校舎を

阪神・淡路大震災を経験した春風地域ですが、知らない世代も増えてきました。災害はいつ起こるか分かりません。今後も地域の絆を大切に、日頃から備えておきたいですね。



【卒業式】

☆上甲子園中学校 3月16日(月)

☆春風小学校 3月19日(木)

【入学式】

☆上甲子園中学校 4月13日(月)

☆春風小学校 4月10日(金)



年賀状、展示しました

新年号に掲載した年賀状を、春風公民館に展示して見に訪れていました。ありがとうございます。ありがとうございました。



年賀状作りに参加した安積湊真(あつみりょうま)さんはお父さんと来ていました

編集手帳

日本放送協会から新しいNHK ONEが公開された。これまでNHKプラスを重宝して使っていたので、早速試してみることにした。

だが、ノートパソコンはすぐにダウンロードできたのだが、スマホがなかなかうまくいかない。仕方なくNHK問い合わせ窓口で電話して、40分以上かけて一緒に試したが駄目だった。結局、どこが原因なのか分からず、窓口には随分と迷惑をかけた。自分の勘の悪さを痛感し、年をとったものだと、こんなところからも感じてしまった。

このところ、例年と違いつ分と寒さが厳しく、朝から暖房を入れているが部屋もなかなか温まらない。少しは体を動かさないといけないので、毎日1回は気分転換を兼ねて外出している。大寒、節分と続くが、早く春の選抜高校野球の喧騒が待ち遠しい。

